

令和7年度 学校運営の構想

校訓 【 誠実（受けとめて） 自律（自らたちつつ） 協同（ともに生き） 】

学校教育目標

主 体 的 人 間 の 育 成

基本方針

生徒一人一人の良さを見つけ、認め、励まし、伸ばす

目指す学校像・生徒像・教師像

◎学 校 像：誰もが安心して学ぶことができ、明日も行きたくなる学校

◎生 徒 像：失敗を恐れず挑戦し、最後まで粘り強くやり抜く生徒

◎教職員像：共に協働し、生徒の成長を楽しむ教師

本年度の重点

～ ALL FOR ONE ～

◆ 授業づくり部会

－自ら考え、対話し、共に学び合う授業づくり－
（個別最適な学びと協働的な学びの実現）

(1) 一人一人が主体的に課題を追求する時間の創出

(2) ペアやグループで異なる考え方を組み合わせることによるよりよい学びの創出

(3) ICT機器の活用

電子黒板、デジタル教科書、AIドリル

◆ 活動づくり部会

－ 自己有用感を高める活動の推進 －

(1) 主体的で自治的な活動の創造

①生徒が創るプロジェクト活動

②生徒会活動の活性化

③生徒が主体となる行事づくり

(2) 正義の気風の醸成

①あいさつ ②掃除

③身だしなみ ④8:00～8:10の活用

明日も行きたくなる学校

◆心づくり部会

－ 豊かな感性や情操の育成 －

(1) 道徳教育の推進

①学校の全ての教育活動を通じた道徳性の育成

②考え、議論する道徳の授業づくり

③ローテーション道徳等、協働体制による授業づくりと教材研究の深化

(2) 人権尊重の精神と実践力を培う人権・同和教育の充実

①互いに認め合い支え合う仲間づくり

②「輝き」教材の計画的な授業実践

③中部中「人権だより」等による生徒・保護者啓発

(3) 総合的な学習の時間の創造

①3年間を見通した計画的な実践（各学年で「郷土・進路・人権」をキーワードに）

②ソーシャル・スキル・トレーニング(SCとの連携)によるコミュニケーション能力の育成



【問題行動・不登校対策の充実】

(1) 問題行動や不登校等に組織的に対応する校内体制の整備

(2) 関係機関等との連携の日常化

- ・ 生徒指導委員会
- ・ 特別支援・不登校対策委員会
- ・ 小中連絡協議会
- ・ 危機管理マニュアルの徹底

【保護者地域から信頼される学校づくり】

(1) チーム中部中学校、教職員の働き方改革の推進、適切な情報発信

(2) 学校運営協議会・PTA・地域人材等との連携

【働き方改革】校務支援システムの活用